

ドローンによる遮光材吹付 散布で高温障害を抑制

最大遮光率 45%

※遮光率は 20%~45%の間で調整可能

生育不良
活着不良
作物劣化
〈STOP〉

作物温度
-4℃

室内気温
-5℃

地表温度
-10℃

【ドローン遮光散布のメリットと効果】

- ①安心の専用塗料 添加剤（防腐剤等）はFDA：アメリカ食品医薬品局認可の原材料を使用していますので安心してハウスに散布が可能です。
- ②安価で短期施工 ドローンにより直上散布を行いますので施工時間が動噴散布の 1/5 以下です。また遮光ネットに比べて施工コストが約 1/3 になり、輻射熱まで減少できるので効果的です。
- ③即効性が高い 遮光ネットでは遮光はできてもハウスにかかる太陽光は遮断出来ない為、輻射熱は発生します！その為、遮光剤を直接ハウスに塗布する方が効果を実感できます。

PO/ガラス用・農ビ用・長期用と 3 種類をラインナップしておりますので全てのハウスに最適な遮光膜を施工可能！実績多数の当社にドローン遮光散布はお任せください！！



大型散布ドローン 遮光剤ハウス散布 基本料金

主剤代：（1 反：1000 m²）
16000 円～22400 円
（主剤：1～1.4 缶）

+

ドローン施工費用 1 m²
60 円～100 円（要見積依頼）



イデアワークス株式会社

〒702-8044 岡山県岡山市南区福島 3-9-14

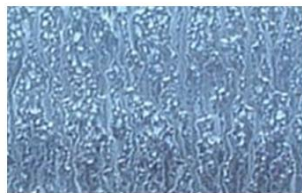
Mail: araki@idea-works.co.jp

☎ 090-3768-5143

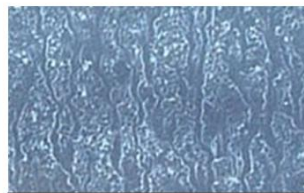
お気軽にお問い合わせください：担当 荒木

農薬管理指導員・DJI AGRAS スペシャリスト・回転翼航空機技能認定士・農薬取扱販売許可店

遮光率（濃度）で薄くなるタイミングを調整可能（遮光率 22%）



散布直後



30 日後



45 日後



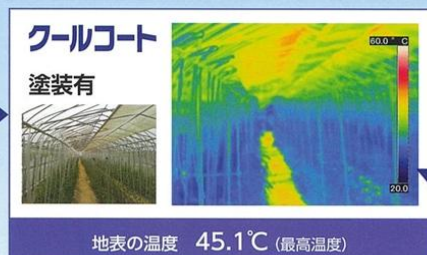
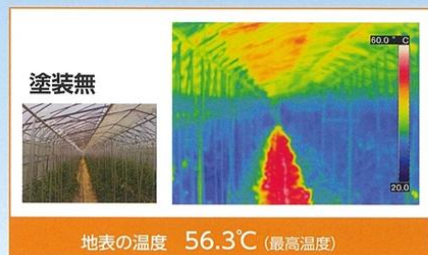
60 日後

※当社が採用しておりますクールコートは降雨等の影響で徐々に薄くなります。

※気温・降雨等の気象条件により薄くなる速度は変化致します。

ビニールハウス内及び作物表面温度（サーモグラフィによる測定）

■ ビニールハウス

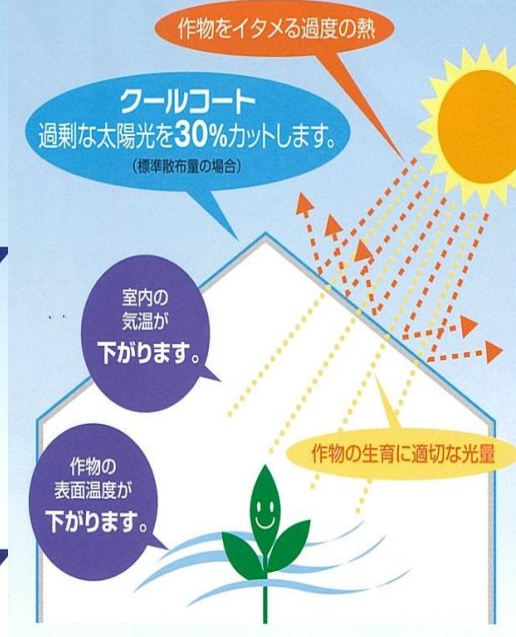


地表温度差は
約10℃

■ 作物(トマト)



作物表面温度差は
約4℃



※温度、湿度等の影響により誤差が生じます。

使用タイプ	フィルムの種類	散布する時期	落ちる目安
PO・ガラス用	ポリオレフィン(PO)	春～梅雨期	1.0～2.0か月
		梅雨明け～真夏	1.5～2.5か月
農ビ用	農ビ(PVC)	春～梅雨期	1.0～3.0か月
		梅雨明け～真夏	2.5～4.0か月 (状況によっては落ちにくくなります。ご相談下さい。)
長期用	PO、ガラス、農ビ共用	通 年	落ちません。

ハウス用、太陽光遮光剤の特徴

- 1・過度な直射日光を効率良く和らげますので、作物の表面温度を低下させます。その為、作物の「イタミ」を軽減し収穫期間の延長が図れることで効率良く増収につながります。
- 2・外気温が 30℃をこえるような夏の暑い日においてはハウス内の気温を 3℃～5℃程低下させます。夏の時期にこれだけ気温差があると、作業においても体感的に随分と楽になりますので作業効率も大幅に改善されます。
- 3・フィルムの種類と遮光目的に応じて 3 タイプの遮光材を用意しております。遮光ネットに比べても手間がかからず大変経済的で即効性の高い遮光環境を提供できます。
- 4・水性であり、使用している**添加剤（防腐剤等）の有効成分は FDA アメリカ食品医薬品局に認可**されているものを使用していますので、作物や外的環境に対しても安心・安全。



所有機体：DJI 社 大型 T50 / 小型 T10 その他 測量/教習用機体多数

イデアワークス
ホームページ



ご相談・ご依頼
ページ



公式 LINE

